

未来を拓く国語教育の創造

—評価活動の充実を通して、学びの質を高める単元づくり—

書くこと部 研究主題

「児童の深い学びを目指す、主体的・対話的な書くことの単元づくり」

第3学年国語科学習指導案

単元名 3年生のわくわくを2年生に伝えよう！
～～2年生に伝わるように書き表し方を工夫しよう～～

学習材名「強く心にのこっていることを」（教育出版 3年）

日 時：令和5年1月23日(月)5校時

児 童：八王子市立由井第一小学校 第3学年3組 24名

指導者：八王子市立由井第一小学校 主任教諭 三道 博子

1 単元の目標

○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び理解〕（2）ア

○段落相互の関係を考えながら、中心になる場面をはっきりさせて文章を書くことができる。

〔思考力・判断力・表現力等〕B（1）ウ

○学習の見通しをもって、思い出に残っている出来事について文章を書こうとする。

〔学びに向かう力、人間性等〕

2 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	①様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 【（1）オ】 ②段落の役割について理解している。【（1）カ】 ③考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【（2）ア】	①「書くこと」において、3年生になって楽しかったことや、強く心にのこったこと等2年生に伝えたいことの書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の關係に注意したりして、文章の構成を考えている。 【B（1）イ】 ②「書くこと」において、2年生に伝えることを意識し、伝えたいことと事例との關係を明確にして、気持ちや様子を表す言葉や会話	①粘り強く間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして文や文章を整え、学習の見通しをもって、思い出に残っている出来事について文章を書こうとしている。 ②2年生が進級を楽しみに思えるように、出来事を選んだり、紹介しようとしたりしている。

	文等を使って、書き表し方を工夫している。 【 B (1) ウ】	
--	--------------------------------------	--

3 単元構想

(1) 児童について（児童観）

本学級の児童は、経験したことのある楽しいことや楽しそうと予想される活動には喜んで取り組む。一方で、イメージしにくい学習や活動には意欲が格段に低くなる。児童が具体的にイメージをもてたり膨らませたりできることが意欲を高めるために必要である。

説明文よりも想像を膨らませやすい物語文の方が正確に読み取ることができる傾向が見られる。話を聞いてメモを取り、設問に答えることは全体的に苦手である。

児童はこれまでに、毎日の生活の中での発見や不思議に思ったことなどを「発見ノート」に書く活動や図や資料を使って生き物の特徴を比べて書く活動をしている。また、各教材の初発と最後の感想を書く活動を積み重ねてきている。当初は、書くことに抵抗感が強く、書き始められなかった児童も、友達の考えを聞いたりアドバイスをもらったりすることで、何かしら書けるようになってきている。しかし、自分の考えに沿う言葉を選んだり、表現を工夫したりすることができる児童は多くはない。

身近なことに関するテーマについて自分の意見を伝え、相手の考えを聞き、途切れる時間がないようにするペアトーク活動を行っている。そのことを通して、じっと考え込んで話すことができなかつた児童が、相手に反応を返せるようになってきている。また、自分の考えを述べる抵抗感を減らすことにつながっている。話し合いを通して、自分の考えを言語化する活動に慣れてきている。書くことに苦手意識をもつ児童も、ペアやグループでの活動を通して、書く内容を選び、書き表せるようにさせたい。

(2) 学習材について（学習材観）

本単元では、経験したことをもとに3年生の面白さ（わくわくする出来事）を2年生に紹介する文章の書き方を学ぶ。

・3年生の実態にあった題材

3年生は、新たな教科やリコーダーや習字などの新たな学習が始まり、それまでの低学年との学習との違いに楽しさを感じている児童も多い。そのため、児童が身近なことから題材について考えられ、題材を自分のこととして捉えやすい。さらに、自分たち3年生の良さを考えることは、自己肯定感を向上させると考えた。

更に、2年生に進級への期待や憧れをもってもらおうという目的意識をもちやすい題材であり、2年生にという相手意識をもって、意欲的に学習に取り組むことができる題材であると考えた。

・仲間と共有しやすく、場面を詳しく思い描くことができる題材

学級として一緒に経験した中から、自分なりの3年生の良さを決め、とびきりの出来事を選んで紹介する。また、それぞれの書く過程において、ペアやグループでの活動を意図的に設ける。その中で、同じ出来事を選んだ仲間でも、そこから感じている3年生の良さが違うことに気付き、違う考えの仲間にも分かりやすく紹介することで自分の経験や思いを共有できる、という達成感をもたせやすいと考えた。

更に、2年生にも思いが伝わる文章にするために、具体的な出来事を詳しく思い出して書く必要がある。同じ出来事を選んだグループの仲間と話し合うことで、読む人が様子や気持ちを思い描けるように文章を書く必要性に気付かせたい。

(3) 単元について（単元観）

本単元では、学習指導要領の第3学年及び第4学年の指導事項、

〔思考力・判断力・表現力〕B書くこと

イ「書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること」

ウ「自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること」を受けて、設定した。

特に、身に付けさせる力として、書く内容の中心が伝わるように詳しく書くこととし、読む人が出来事の様子やその時の気持ちを思い浮かべられるように書く方法を学べるようにしたい。

また、総合的な学習の時間と関連させた単元を計画する。2年生に「3年生すごいぞキャンペーン」を実施し、その場で書いたものへのフィードバックを受け、振り返ることができる教科横断的な学習を行う。

一次では、まず3年生での学習を振り返り、書くことを決める。

二・三次では、各時間に指導事項のエ、オを盛り込むとともに、児童が必要に応じてア、イ、ウの学習過程を行き来できるように柔軟に設定する。

- ①取材メモ（わくわくシート）をもとに、伝えたいことが明確になる構成を考える。
- ②文例を比べて読み、出来事を詳しく書く必要性に気付く。
- ③記述し、仲間と読み合う。

まず、伝えたいことの内容をはっきりさせ、合致する具体的な出来事を選んで組み立てを考えさせる。取材メモ（わくわくシート）で書いた短冊の中から必要なものを選び、整理させる。

また本時では、良い文例だけでなく、不十分な文例を比べて読むことで、出来事を詳しく書く大切さに気付き、自分の紹介文に取り入れられるようにしたい。そして、書いた紹介文を自分だけでなく、仲間にも読んでもらうことで、よりよい文章にするために推敲し合ったり、仲間の良い表現を取り入れることでより適切な表現を用いたりすることができるようにしたい。さらに、振り返りカードと学習計画を一体化させたチェックシートを用いることで、児童が見通しをもって学習を進められるようにする。

4 研究主題に迫るために

(1) 本単元で深めていこうとしている学びの質について

本単元では、伝えたいこと（自分の考えと、それに合った理由や事例）を明確にしなが、相手に伝わるように書き表し方を工夫することができる力の育成をねらっている。一年間の学校生活で強く心に残った出来事や、それを基に考えたことを紹介するという言語活動を通して、書くために必要な知識や技能（知識及び技能）を高め、書く対象について及び自らの表現の仕方についての見方や考え方（思考力・判断力・表現力等）を広げたり深めたりしていくことによって、深い学びを目指す。

具体的には、インタビューや短冊、取材メモ、文例提示など様々な方法を用いて、書くための情報を集め、整理し、表現の工夫をすることができるようにする。また、友達との交流や相互評価、自己評価等を通して、互いの考えやよさを認め合うことにより、さらによりよい学びができるようにしていく。

単元を通じたこのような学びにより、伝えたいことを明確にしなが、相手に伝わるように書き表し方を工夫できる力が深まっていくことを期待する。

(2) 学びの質の向上を図る単元の工夫

①単元の目標と単元を通して身に付けさせたい力を設定した意図

本学級の児童は、楽しそうだ、できそうだと見通しのもてる活動であれば、意欲的に学習に取り組むことができる。しかし、自分の考えを分かりやすく伝えるための表現力については、さらに耕してもっと豊かにしていく必要があると感じている。そこで、本単元で身に付けさせたい力は、「伝えたいことを明確にしなが、相手に伝わるように書き表し方を工夫することができる力」と設定した。

まず、伝えたいことを明確にするためには、経験したことの中から多くの材料を集め、それらを比較・分類し、選んでいくことが必要である。また、書き表し方を工夫するためには、文章の構成の仕方や、文章の中での言葉の使い方をより吟味していくことが必要となってくる。そうした活動に必要な支援を工夫するとともに、個に応じた適切な学習過程を児童と共に作ることによって、本単元で目指す力を育てることができると考えている。

②主体的、対話的で深い学びの視点での授業改善につながる工夫

○主体的な学びを促す学習環境（導入の工夫、実の場の設定）

「言葉の宝箱」を用意したり、2年生の担任からの依頼文を児童に提示し、書いた作品を実際に活かす場を設定したりして、児童が学びへの意欲をもてるようにする。

○見通しをもって学べるワークシートや文例の提示

ウェビングマップや短冊を用いるなど、学習過程で使うワークシート類を工夫し、めあてに応じた文例を提示することにより、児童が学習過程を見通しながら、個に応じて学べるようにする。

○個の学びを広げ、深める交流活動

少人数のグループワークを取り入れることにより、互いに助言し合ったりよさを認め合ったりして、児童が学びを広げ深めていけるようにする。

(3) 評価活動の工夫

①「児童にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を捉える評価の工夫

○評価シートの工夫（評価シート参照）

- ・振り返りチェックシートの毎時間のめあての中に、「知識・技能」で評価することを明示することで、自己評価で学習の成果をチェックできるようにする。
- ・特に振り返ってほしい項目に注目できるよう、質問を入れて、記述で思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の評価ができるようにする。

○文例の提示

- ・単元の初めの方でB規準の文例を提示することで概ね満足できる文章（評価規準）がイメージできるようにする。
- ・内容の中心を詳しくする場面や、下書きの場面で、B規準の文例とC基準の文例を提示することで、詳しく書く手立てが分かるようにする。

②教師が指導の改善を図るための評価の工夫

○前単元での評価を活用する。

- ・前単元での評価から、個別指導が必要な児童や、どんな活動につまずくかを予想し、手立てを用意する。

○取材や直しの時間の確保

- ・個々の学習状況を把握し、必要に応じて次時まで個別指導ができるよう、十分に余裕をもった学習計画を立てる。

○座席表型評価簿の活用

- ・座席表型評価簿に、前時の記録を基にした個人への支援を明示することで、児童一人一人の状況を把握して指導・支援ができるようにする。
- ・座席型評価簿にその時間に評価することを明示し、記号化して記録することで、適宜助言したり、学びの変容を見取ったりできるようにする。

(例) 1 hの授業後にシートに各児童が決めた題材を書き入れておく。

2 h (個人) ◎カードを自分で増やせている。

○先生の質問に答えたり、友達に聞いたりして増やせている。

△質問しても出てこない。

3 h ◎適切な内容を、詳しくできている。

○適切な内容が選んでいるが、詳しくしきれていない。

△選んだ内容が魅力の中心にならない。【→すぐに指導入れる。再度確認必要】

③児童自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるための評価の工夫

○学習計画と振り返りチェックシートの一体化

- ・一目で単元全体の学習の見通しがもてるようにし、毎時間の振り返りの際にも、次時の活動を確認できるようにする。

5 単元計画

過程 (次)	時	学習活動	○指導上の留意点	◆評価規準 ★評価方法
0次		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生の3学期に、3年生に進級するに当たってどのような気持ちでいたかを想起させる。 ・ 4年生から地域のことを教えてもらったことを振り返り、下級生のために自分たちもできることをしたいという意欲につなげる。 		
一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ① 2年生の担任から、手紙が届き、「2年生が3年生に進級することを楽しみに思えるように3年生の思い出を紹介する。」というめあてをもつ。 ② 手紙を受け、2年生に3年生のどんなことを紹介したいかクラスで出し合う。(7資料②) ③ 思い出を「社会」や「理科」、「社会科見学」などに分類する。 ④ 紹介したいことを選び、選んだものが同じか似ている人とグループを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「2年生は、3年生のことを知りたいと思っているので、3年生から始まる学習やどんなことが2年生と違うのか教えてください。」という趣旨の手紙を用意する。(7資料①) ○ 2年生が3年生に進級することを楽しみにできるように紹介することを確認する。 ○ 「社会」「理科」「運動会」など、大きなテーマでグループを作成し、書きたいテーマに沿うようにする。 ○ 書くことが苦手な児童が同じグループに偏らないように配慮する。(グループは、後日発表する。) ○ 座席表型アドバイスシート(児童用)を掲示し、本単元で児童が参考にできるようにする。 ○ チェックシートで毎時間、振り返りを行う。(7資料⑧) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2年生に紹介したい思い出を書くことに意欲をもち、学習の進め方を理解している。また、思い出の中から思い出を選ぶことができる。【態度】 ① ★ 発言、活動の様子 ★ 座席表型評価簿
	2 3	<ul style="list-style-type: none"> ① 選んだ事柄について、どんなことを伝えたいか、短冊に書き出す。 ② 書いたものをグループで共有する。 ③ 情報を集める。 友達や先生にインタビューをしたり、日記を振り返ったりする。 ④ 集めた情報から、一番伝えたいことを選び、詳しくする。 ⑤ 伝えたいことがより伝わる資 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 短冊をマスキングテープでわくわくシート(7資料③)に貼り付けられるようにする。 ○ お互いの短冊を見せ合い、アドバイスをし合う。短冊を付け足させる。 ○ 2年生によりよく紹介するために、詳しくしたりエピソードを追加したりして、さらに情報を集める。 ○ 広げた情報から伝えたいことを選択し、深く掘り下げる。 ○ 相手の視点に立ち、想像させる。 ○ 写真や絵、実物など、2年生の 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2年生に伝えたい題材について、グループで検討し、情報を集めたり、中心を明確にしたりすることができる。【知・技】(2)ア ★ わくわくシート短冊 ★ 座席表型評価簿

		料を用意する。	理解を助ける資料を用意させる。	
二次	4	<p>①始め・中・終わりの構成や中心場面の様子や気持ちを思い起こしながら、組み立て表(7資料④)を作る。</p> <p>②「始め・中・終わり」の「始め」「中①」の部分を文章にする。</p>	<p>○一番伝えたいことが伝わるように整理して組み立て表を作る。</p> <p>○順番がちぐはぐな文例を見ることで、順序よく書くことの大切さに気付かせる。</p> <p>○一次で作成した短冊(青)から必要な事柄を選び、伝えたいことが伝わるように順番を決めさせる。</p> <p>○青い短冊の内容を詳しくする際は、黄色の短冊を使用し、区別が付きやすいようにする。</p> <p>○型を提示することで、書き出しやすくする。</p>	<p>◆中心場面が明確になるように、文章全体の構成を考えながら組み立て表を書いている。</p> <p>【知・技】(2)ア</p> <p>★組み立て表</p> <p>★座席表型評価簿</p>
	5 本時 6	<p>①組み立て表を基に、文章を書く。</p> <p>②早く書き終えて見直しが終わった児童は、友達と交流する。</p>	<p>○詳しく書かれていない文章と詳しく書かれている文章を比較させ、詳しく書くことの必要性に気付かせる。(7資料⑥)</p> <p>○組み立て表を参考にしながら、中心の事柄が伝わるように下書き用紙(7資料⑤)に詳しく書く。</p> <p>○書き終わった児童には、「気持ちや様子を表す言葉、会話文等を使って、詳しく書くことができるか」見直しをさせる。</p> <p>○2年生がわくわくできる文章になっているかに注目させる。</p> <p>○良いところと直すところを伝えさせる。</p> <p>○自分の直しは赤鉛筆、友達の直しは青鉛筆で行わせる。</p>	<p>◆組み立て表をもとに、伝えたいことを明確にした文章を書いている。【思・判・表】Bウ</p> <p>◆粘り強く間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして文章を整え、思い出に残っている出来事について文章を書こうとしている。【態度】</p> <p>★下書き用紙</p> <p>★座席表型評価簿</p>
	7	①推敲の観点を認識して自分の文章を読み返し、書き直したり、書き加えたりする。	<p>○「中心になる場面をはっきり書いているか」「大切な会話を落とさないで書いているか」「会話の前後の様子を詳しく書いているか」「その時の気持ちや様子が分かるように書いているか」という推敲の観点を確認させる。</p> <p>○2年生が習っていない漢字は平仮名で書かせる。</p> <p>○直した箇所に気を付けながら、清書させる。</p>	

		② 2年生に読んでもらうことを考えて、丁寧に清書する。	○ 清書用紙「罫線有り14行・18行・20行、原稿用紙」（7資料⑦）を色違いで用意し、児童に選ばせることで書きたい意欲を高める。	
三次	8	① 班でお互いの作品を読み合っ て、感想を伝え合う。	○ 感想を付箋に書いて伝え合 わせる。付箋は、今までの構成メ モやわくわくシート等を貼り合 わせたワークシート集に貼らせ る。	◆ 友達の文章を読 み、参考になる 点を見付けよう としている。【態 度】② ★ 記述
実 の 場		① 2年生に3年生の書いた文を 紹介する。	○ 2年生の理解を助ける資料（写 真や絵、実物など）を添える。	

6 本時の学習（8時間扱いの5時間目）

(1) 本時のねらい

- ・組み立て表を基に、「始め・中・終わり」の「中」について、中心場面が明確になった文章を書く。

(2) 本時の展開

学 習 活 動	○指導上の留意点	◆評価規準 ★評価方法
1. 本時のめあてを確認し、活動の内容を確かめる。 2. 文例を参考に、詳しく書くためのポイントを全体で考える。	○2年生に分かりやすく伝えられるように書くことを確認する。 ○もう少しの文例を提示し、もっと詳しくするために必要なことを考えさせる。(様子や気持ちを表す言葉や会話文) ○よい文例を提示し、どの部分が詳しくしている部分に当たるかを見付けさせる。	
組み立て表をもとに、中心の場면을くわしく書こう。		
3. 自分の組み立て表を見直し、詳しく書くポイントが入っているか確認する。 4. 組み立て表をもとに、文章を書く。 4. 本時の学習を振り返り、次時につなげる。	○組み立て表から、「始め・中・終わり」の「中」について、中心場면을詳しく書くことを確認する。 ○詳しく書くポイントが入っていない場合は、追加させる。 ○組み立て表を参考にしながら、下書きを書かせる。 ○書く中で、組み立て表を振り返らせ、それぞれの場面の様子や気持ちを詳しく思い出すよう助言する。 ○書き終わった児童には、「気持ちや様子を表す言葉、会話文等を使って、詳しく書くことができているか」見直しをさせる。余白の部分に赤鉛筆で記入させる。 ○見直しが終わった児童は、教室の後ろのスペースで書いたものを読み合わせる。その際、友達からのアドバイスは余白に青鉛筆で書かせる。 ○組み立て表を基に、中心の場면을詳しく書けているか確かめ、次時に続きを書くことを確認する。	◆組み立て表を基に、伝えたいことの中心を明確にした文章を書いている。 Bウ ★下書き用紙 ★座席表型評価簿 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○<u>おおむね満足できる児童への本時以降の手立て</u> ・詳しく書いた事柄を読み返し、例文に戻り、さらによりよい表現で表せないか考えさせる。 ・交流することで、友達のよさに気づき、よりよい表現を目指すさせる。 ○<u>おおむね満足できる状況を目指す児童への本時以降の手立て</u> ・同じグループのおおむね満足できる児童の作品を見ながら、詳しく書くことについて具体的に確認する。 </div> ○本時のめあてについて、振り返るように助言する。 ★振り返りチェックシート

④組み立て表

おわり おわり	中② 中②	中① 中①	はじめ はじめ

組み立て表
三年（ ）組（ ）
文の組み立てを書き込もう。

⑤下書き用紙（行間にアドバイスや直し等を書き込むスペースがある。）

Vertical writing lines for a draft paper, consisting of multiple columns of dotted lines.

題
名前（ ）

⑥文例（よい、もう少し）

「わくわくがたくさん！ 社会科見学」

【はじめ】わたしが三年生でわくわくしたことは、社会科見学です。八王子の市役所や夕やけ小やけふれあいの里に、三年生のみんなでバスに乗って行きました。

【中①】ふれあいの里では、モルモットにふれて、あたたかい気持ちになりました。

【中②】ぼくは、はじめてモルモットをさわりました。モルモットは、ぼくのひざの上でじっとしています。すると、のせているひざがだんだんあたたかくなってきて、心までぼかぼかしてきました。

さとうさんが、

「目をとじているから、きっと安心してているんだね。」

と言いました。ぼくもそう思ったので、

「うん。ずっとこうしていたいな。」

とうなずきました。

まだ、モルモットのやさしいあたたかさが、ひざにのこっている気がします。また、会いに行きたいです。

【おわり】二年生のみなさんも、来年の社会科見学を楽しみにしててください。きっと、楽しい思い出がたくさんできますよ。

「社会科見学の思い出」

【はじめ】わたしが三年生でわくわくしたことは、社会科見学です。八王子の市役所や夕やけ小やけふれあいの里に、三年生のみんなでバスに乗って行きました。

【中】ふれあいの里では、ポニーを見たり、モルモットをひざにのせてなでたりしました。はじめてモルモットをさわって、とてもかわかったです。またさわりたいと思いました。

【おわり】二年生のみなさんも、来年の社会科見学を楽しみにしててくださいね。きっと、楽しい思い出がたくさんできます。

⑦清書用紙18行（14行、18行、20行から児童が選ぶ。）

名前（ ）

（Blank lined writing paper with 18 horizontal lines and vertical dashed midlines for handwriting practice.)

⑧チェックシート

清書・読み合い	すいこう	下書き	組み立て表	伝えることえらび	みりよくさがし	題材決め
8 ★二年生にしようかい！ ・友達文について、よいところを伝えられた。 ・最後までていねいに書くことができた。	7 ・二年生にみりよくが伝わるように、パワーアップできた。	6 ・えらんだことのみりよくが伝わるように、くわしく書けた。	5 ・「はじめ・中・おわり」を考えながら、組み立て表を作れた。	3 ・みりよくをつたえられるしりょう（絵や写真など）を用意できそう。 ・一番伝えたいことをえらんで、くわしくすることができた。	2 ・グループで話し合っって、カードをふやせた。 ・一番伝えたいことをえらんで、くわしくすることができた。	1 ・二年生にしようかいしたいことを決められた。 ・どんなことを伝えたいか、カードに書けた。 ・グループで話し合っって、カードをふやせた。
◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △

○学習をふりかえりましょう。

どんなよいところを伝えた？

どのくらいパワーアップできた？

何をくわしくした？

「中」の段落は、いくつになりそう？

一番伝えたいことは？

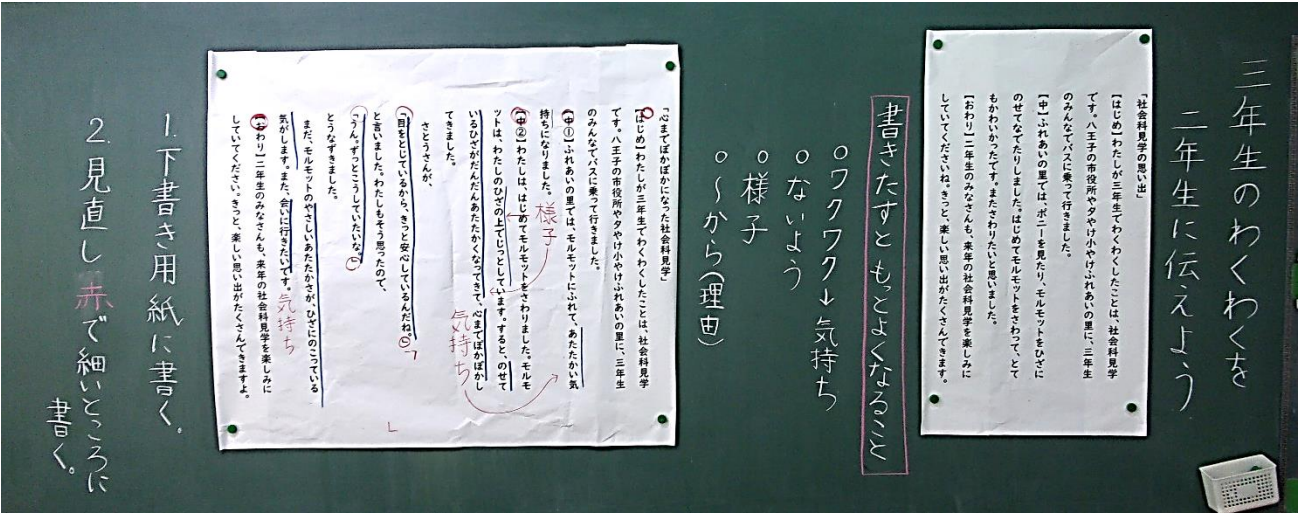
くわくするようにならうことをえらべた？

二年生に伝えたいことは？

名前（ ）

○見直しをもって学習を進めましょう。

⑨ 板書計画



三年生のわくわくを
二年生に伝えよう

社会科見学の思い出
「はじめてわたしが三年生でわくわくしたことは社会科見学です。八王子の市役所や夕やけ小やけあいの里に、三年生のみんながバスに乗って行きました。」
「中井ふみあいの里では、ポンを見たり、モルモットをひたひたのせてなりました。はじめてモルモットをさわって、とてもかわいかったです。またかわりたいと思いました。」
「おわり二年生のみなさんも、来年の社会科見学を楽しみにしていてくださいね。楽しい思い出がたくさんあります。」

書きたすとも、とよくなること

- フクフク ↓ 気持ち
- ないよう
- 様子
- から(理由)

① まではかほかに、社会科見学
② はじめてわたしが三年生でわくわくしたことは、社会科見学です。八王子の市役所や夕やけ小やけあいの里に、三年生のみんながバスに乗って行きました。
③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

1. 下書き用紙に書く。
2. 見直し、赤で細いところに書く。

⑩ 児童作品

友だちと話し合えるおく上！
わたしが三年生でわくわくしたことは、社会の勉強で学校のおく上に行
って、まわりのけしきを見たことです。東西南北についても調べました。
おく上が広いから、友だちと話し合いながら、学校まわりのけしきを
見ることが出来ます。
学校のまわりのけしきを見ると、気持ちがよくまりました。おく上から
けしきを見ると、楽しくて、うれしくなります。学校のおく上は、とても
広くて、気持ちがいいです。おく上がとても広いので、みんなでけしきを
見られます。友だちと話し合いながらけしきを見られます。雨がふったあ
とだったから、水たまりがありました。
学校のまわりの東西南北についても調べました。だから学校のまわりの
ことがよくれました。東には、学童やうちこし中学校がありました。西
には、けいあい北野ほいく園やお店がありました。南には、お店やマンシ
ョンなどがありました。北には工場や大きなマンションなどがありました。
それぞれたくさんおしゃべりや工場がありました。学校のまわりにはどんな
ものがあるのか、よくわかかってうれしかったです。
おく上から帰ってきたら、おく上から見た物を社会のノートにまとめま
した。社会のノートにまとめるときは、おく上に行ったことを思い出しながら
書きました。
二年生のみなさんも、三年生になって、おく上に上がるのを楽しみにし
ていてください。きっとおく上は、気持ちがよくてわくわくしますよ。